

品川支部

令和七年4月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel 3442-7075

4月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

新体制 支部長に 宮坂先生(南泰) 今月は四日教区記念祭、 十八日教祖誕生祭 翌日婦人会総会 二十九日全教一斉ひのきしんデー

四月から支部の職制が変わります。前任の三輪先生から支部長が宮坂先生となります（他職制の詳細は四頁）

イベント満載の四月、四日教区記念祭、品川支部では焼きそばの模擬店出店、十八日本部では教祖御誕生祭で翌十九日は婦人会総会が催されます

そして二十九日は全教一斉ひのきしんデー（詳細二頁）
どれも三年千日間、最後のイベントでしっかり仕上げましょう



東京教務支庁創立記念祭・12の模擬店

さすが東京教区
模擬店どれも
一流の美味しさ

☆支部行事のお知らせ

二十九日全教一斉ひのきしんデー
現地昼食可、詳細は二頁掲載

みんなでひのきしん三年千日仕上げの年
東京教区では、百四十年祭の活動として
「みんなでひのきしん」をテーマとしています

・神名流し 一日午前十時開始 大井町駅前
終了後、ゴミ拾ひのきしん
・大井在宅介護センター 二十八日九時半から
の二日を支部のひのきしん活動の日としています
沢山の方の参加をお願い致します

・支部幹事会

四月九日(水)午後六時(都南にて)

・教区ひのきしん

四月五日(土)午前九時半

・桜京組の当番です宜しくお願いします

☆教務支庁からのお知らせ

・教区記念祭詳細

立教百八十八年四月四日

午前十時より祭典執行 受付は八時四十五分開始
記念講演

・内統領 宮森与一郎先生

記念講演終了後、配布予定は一時半頃

品川支部は焼きそば屋台を担当

*当日赤飯配布等は参加者登録した方のみになりますので、
お近くの教会で参加希望をしておいて下さい
この気候でソメイヨシノも満開で楽しめると思います

・婦人会から

第七回婦人会総会記念行事 教祖
誕生祭翌日 十九日(土)

* 本部中庭 南東礼拝場前・西境内
* 工事中であった西2駐車場使用可

品川支部職制変更

支部長	宮坂義則	(南泰)
副支部長	石田寛之	(水豊田)
地方委員	栗原薫	(豊英)
布教部	山中清明	(三ツ木)
同補佐	岡部喜徳	(日徳實)
厚生部	平林典道	(鶴平)
教務部	浅田一善	(神品川)
社友会	三輪元治	(本大崎)
婦人会	石田ゆき	(水豊田)
青年会	中澤光太	(本品)
少年会	岡部喜徳	(日徳實)
学担委	栗原慶	(豊英)
災害隊	氏家次男	(本荏)

品川支部幹事(十名)

辰巳源一(櫻京)	中澤光郎(本品)
栗原薫(豊英)	三輪元治(本大崎)
平林典道(鶴平)	浅田正行(神品川)
寺田竹彦(本品川)	
木村清道(日本橋)	
会計 栗原房枝(豊英)	
時報手配り 三輪元治(本大崎)	
教区布教部長 中臺健児(日本橋)	
教区教務部長 田中豊一(本荏)	
教区主事 西海道生(都南)	

時報手配り四月予定

お陰様で、手配りひのきしんを
協力頂ける方が増えたと言
うことですが、二、三軒の配布にあ
と二人ほどお願い致します

拠点教会	2日号	9日号	16日号	23日号
日本橋	直送	手配り	手配り	休刊
本荏	手配り	直送	直送	休刊
南泰	直送	手配り	手配り	休刊
三ツ木	手配り	手配り	直送	休刊
水豊田	手配り	直送	手配り	休刊

来世を見ながら
今を生きる

本荘大教会長

世の中には実に様々な研究に取り組む大学の研究室や機関があります

透明マントの開発研究、猫から採取した耳ダニを自分の耳に入れて観察・分析した実験、肛門から酸素を吸収する「おしり呼吸」の研究など、実に多種多様ですが、米国のバージニア大学では前世研究、いわゆる生まれ変わりの研究をしている研究室があり、大門正幸さんという日本人も客員教授としてこの研究に取り組んでいます

この前世研究では、これまで四十年以上に亘って前世の記憶を持つとされる子どもたちの事例を二千六百例ほど集め、客観性や論理性を重んじて厳密な科学的アプローチを使って研究を続けています



そのことにより、前世の記憶現象には幾つかの特徴があることがわかっています

例えば、前世の記憶を持つ子どもたちは言語能力が高く、他の子供たちよりも早く話しはじめることが多く、幼少期（主に二〜五歳頃）に突然過去の記憶を語り始める

その内容は、本人が経験したはずのない詳細な情報が含まれている

記憶が残っているのは前世で非業の死を遂げたケースが多く、自然死の場合よりも生まれ変わるまでの間隔が平均三年未満と短い

前世と思われる人物の亡くなり方に関連した先天性欠損や痣が見られることがある

五歳から八歳頃までには多くの子供たちは語るのをやめ、成長するにつれて本人の記憶からも忘れ去られる傾向がある。などです

また、中には前世が猫や蛇など、人間以外の動物であった記憶を持つ子供もいます

この前世の記憶研究は未だ途上段階のものであり、今のところ何かを証明するものではありませんが、研究が進んで行けば、やがて死と生についての常識が塗り替えられ日が来るかもしれません

さて、私たちの信仰には出直しの教理があります

おさしづには、

人間というのは、一代と

思うから頼りない。

理は末代の理。これをよう聞き分けて、しっかり治めてくれ

(明治37年12月31日)

人間というのは、一代と

からどうむならん。人間生まれ更わり、この理聞き分け

(明治38年12月13日)

とあり、科学などというものが証明せずとも、私たちは生まれかわり、出かわりをする存在であることを教えてくださっています

また、諸井政一著

『正文遺韻抄』には、

「元は、九億九万九千九百九十九人の人数にて、中に、牛馬におちて居る者もあるなれど、此世はじめの時より後に、生き物が出世して人間とのぼりてい

それは、とりでも、けものでも、人間をみて、ああうらやましいものや、人間になりたいと思ふ一念より、うまれ変わりに出変わりして、だんだんこうのうをつむで、そこで、天にその本心をあらわしてやる

すると、今度は人間にうまれくるのやで、さういふわけで人間にひき上げてもらうたものが、沢山にあるで」

と、人間創造の時に産み下ろした子数にとどまらず、生き物が出世して人間へと引き上げられる話が記されています

私たちが道の信仰者がこの生まれかわりの教理をどこまで信じているのかは人それぞれかもしれないませんが、今世が来世へとつながっていることが得心できれば、今の生き方が必ず変わってくるはず

前世の記憶現象が解明されて、人々が利根的な生き方から脱却し、人類がたすけ合いに目覚める日がやってくることを心から期待しています

田中豊一

全教一斉ひのきしんデー

日にち 4月29日 (火曜祝日)

場所 大井ふ頭中央海浜公園

(なぎさの森)

時間 十時から十一時半頃迄

九時半現地集合

終了後、大抽選会を行います

昼食は終了後、現地で広げられますが
お弁当は各自でご用意下さい

駐車場は午後一時の閉鎖まで使えます

